万葉集

年　組　番

得点　／30

問一　次の傍線部の漢字の読みを現代仮名遣いを用いて平仮名で書きなさい。

①　にほへる妹（　　）　②　東の野（　　）

③　天地の（　　）　④　幸くあれて（　　）

問二　次の語句の意味を書きなさい。

①　時じく（　　）　②　まかる（　　）

③　ここら（　　）

問三　次の傍線部の接続助詞「ば」の働きを、例にならって説明しなさい。

（例）家にあれば笥に盛る飯を草枕旅にしあれば椎の葉に盛る（順接・恒常条件）

①　紫のにほへる妹を憎くあらば人妻ゆゑに我恋ひめやも（　・　）

②　田子の浦ゆうち出でて見ればま白にそ富士の高嶺に雪は降りける（　・　）

③　うらうらに照れる春日にひばり上がり心悲しもひとりし思へば（　・　）

問四　次の傍線部はそれぞれ下の語にかかっている。ここで使われている修辞法を答えなさい。

①　あかねさす紫野行き（　　）

②　多摩川にさらす手作りさらさらに（　　）

問五　次の傍線部の助動詞の意味と活用形を答えなさい

①　野守は見ずや（　・　形）

②　我恋ひめやも（　・　形）

③　駿河なる富士（　・　形）

④　語り継ぎ　言ひ継ぎ行かむ　富士の高嶺は（　・　形）

⑤　憶良らは今はまからむ子泣くらむ（　・　形）

万葉集

☆解答例と配点

問一　①いも　②ひんがし　③あめつち　④さ〈１点×４〉

問二　①いつも　②退出する　③たいそう　〈２点×３〉

問三　①順接・仮定条件　②順接・偶然条件　③順接・原因理由〈２点×３〉

問四　①枕詞　②序詞〈２点×２〉

問五　①打消・終止形　②意志・未然形　③存在・連体形　④意志・終止形

⑤現在推量・終止形〈２点×５〉

（計30点）